

ヘアカット [実践編]

3日で習得できるカリキュラム。
[あらゆるレングス&スタイル] + 今[はやりのスタイル] を学びます。

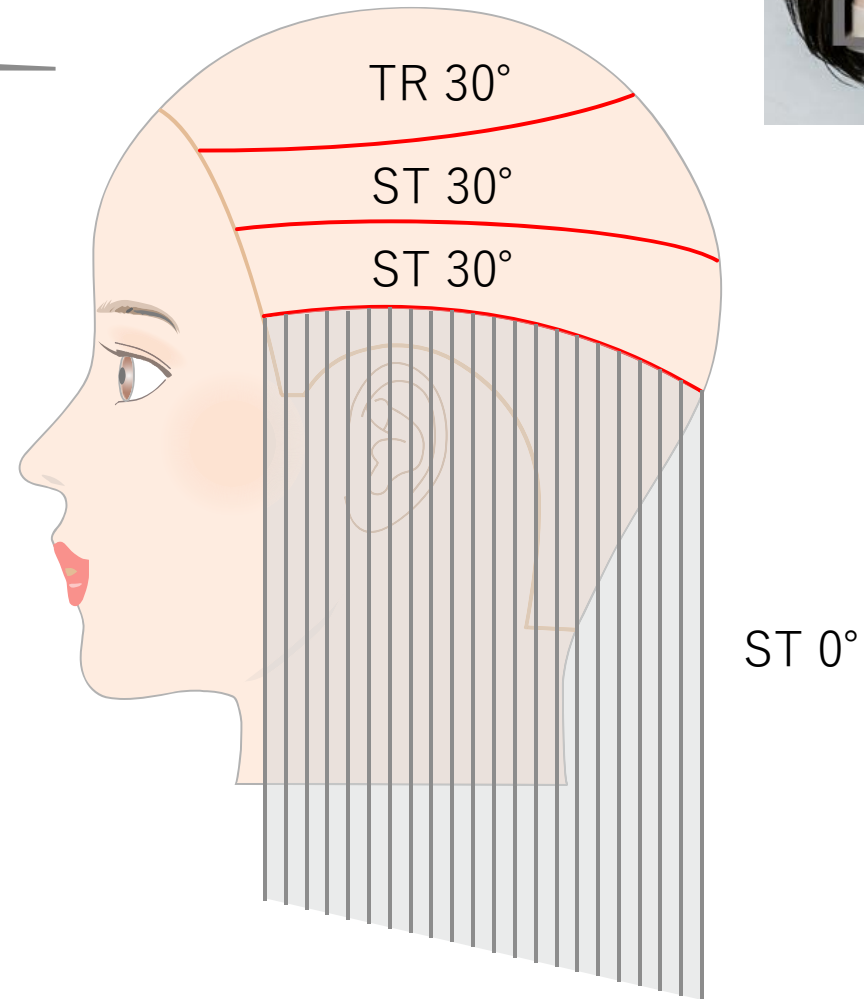
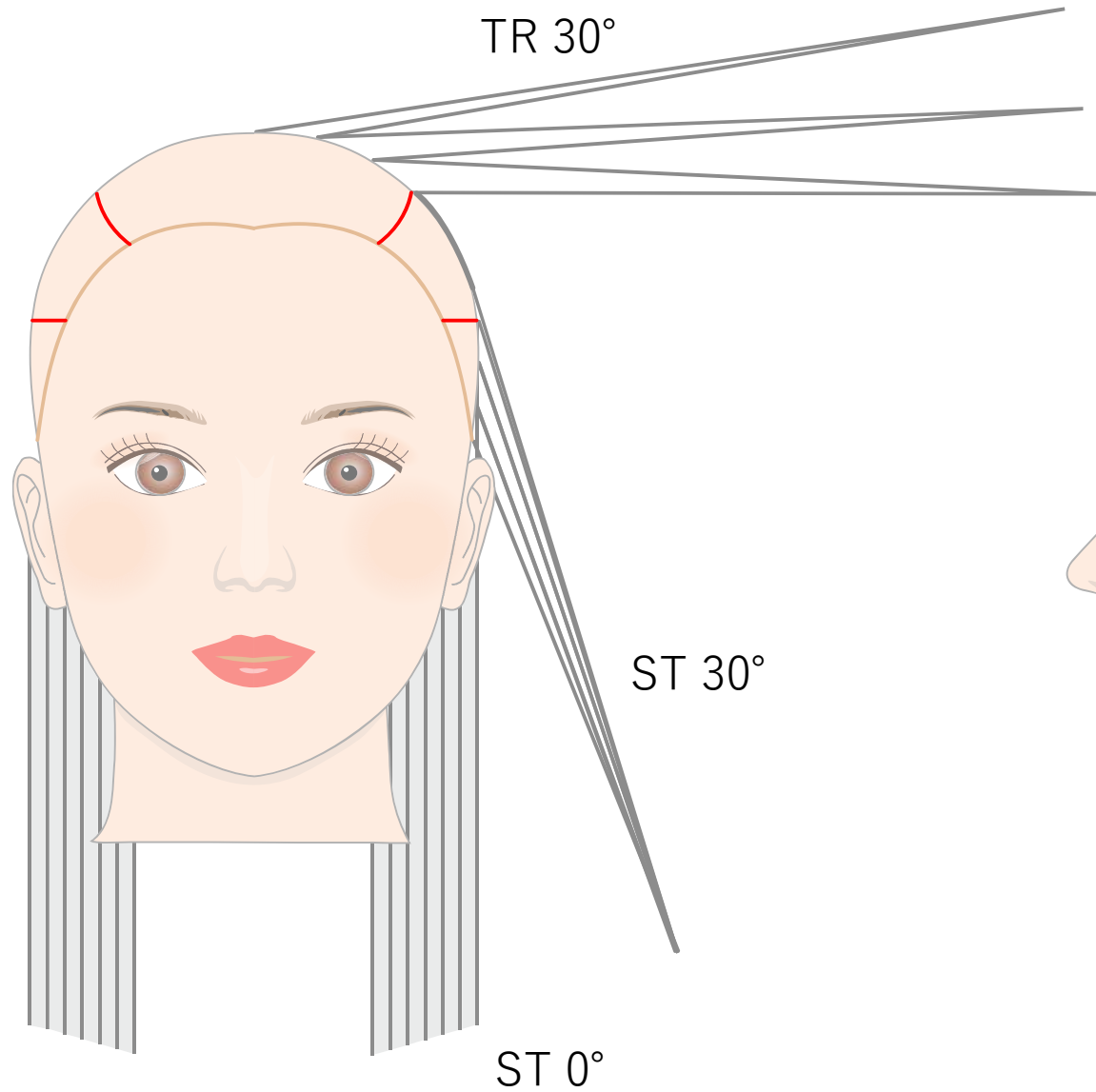
2020.03.06

SCHE DULE

Lesson 1	ロングレイヤー、ミディアムレイヤー	WIG①
Lesson 2	毛先のハネ+切り口	WIG①
Lesson 3	ボブレイヤー	WIG①
Lesson 4	マッシュルーム	-
Lesson 5	ショート	-

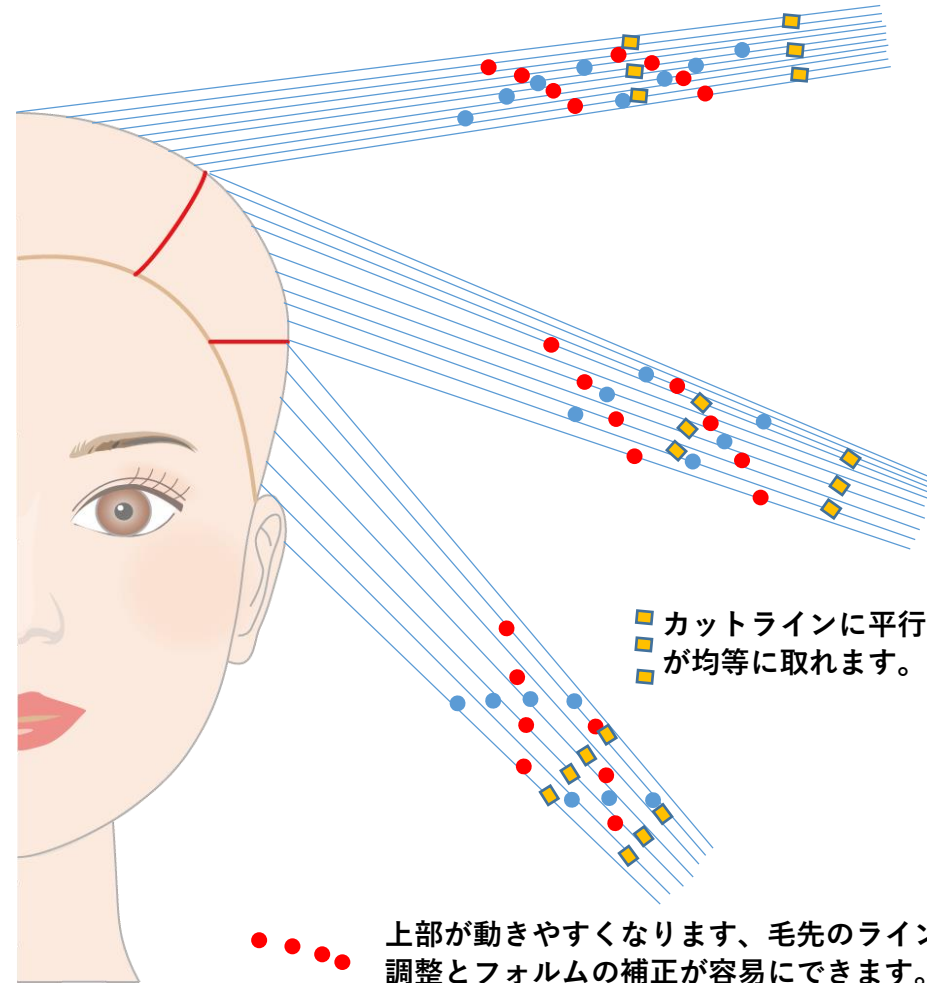
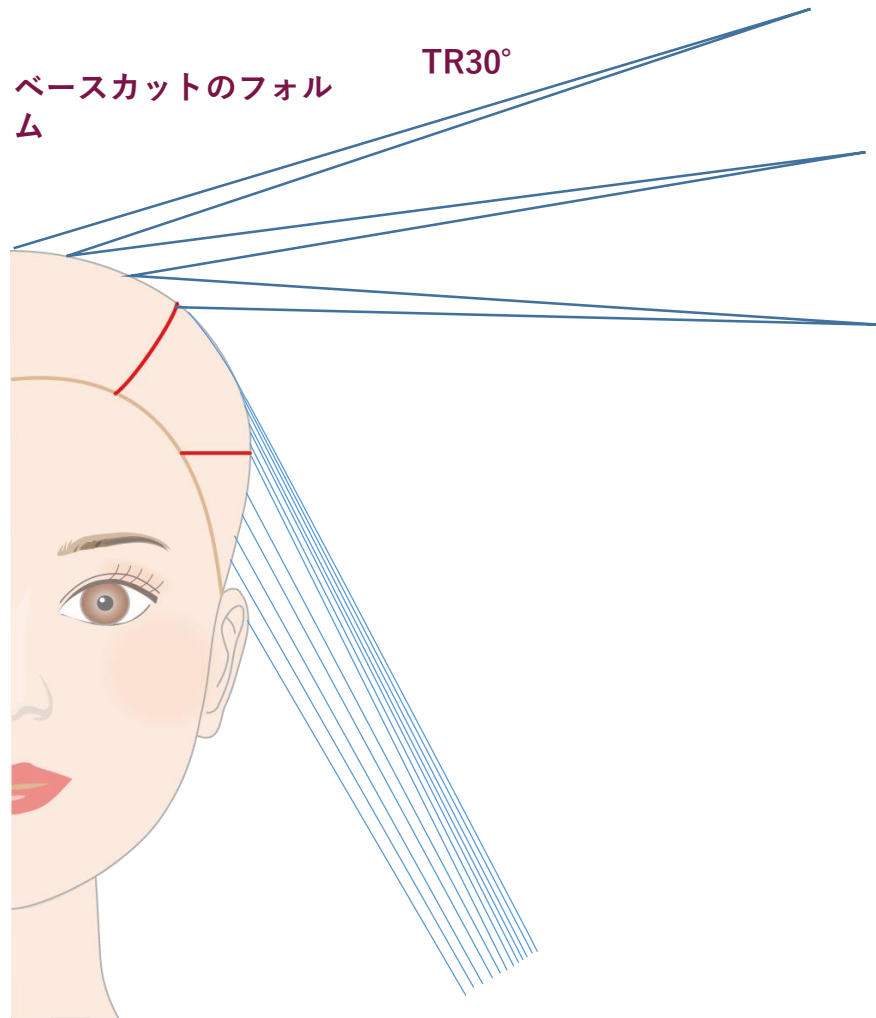
Gaff's Method
Cutting School
for Beauty
Hair Designers

ロング&ミディアム フォルム



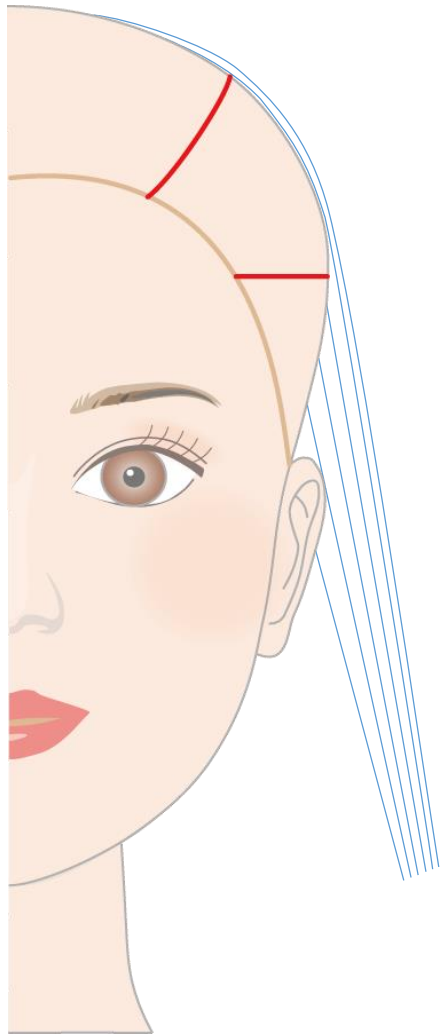
ST : ステーションナリー
TR : トラベリング

ロング&ミディアム セニング (毛量調整)



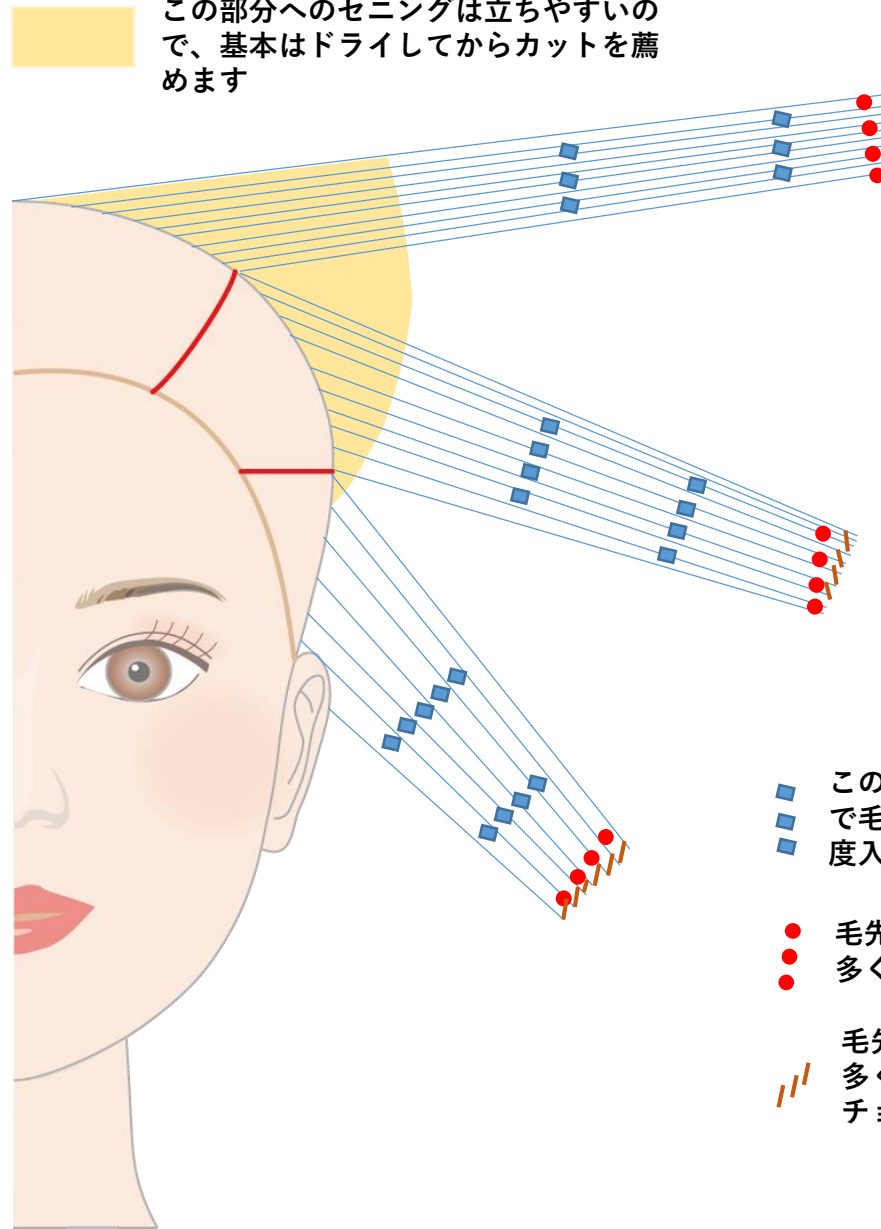
ボブ ハネ

ベースカットのフォルム S T 15
+毛先ハネ



S T 15°

この部分へのセニングは立ちやすいので、基本はドライしてからカットを薦めます



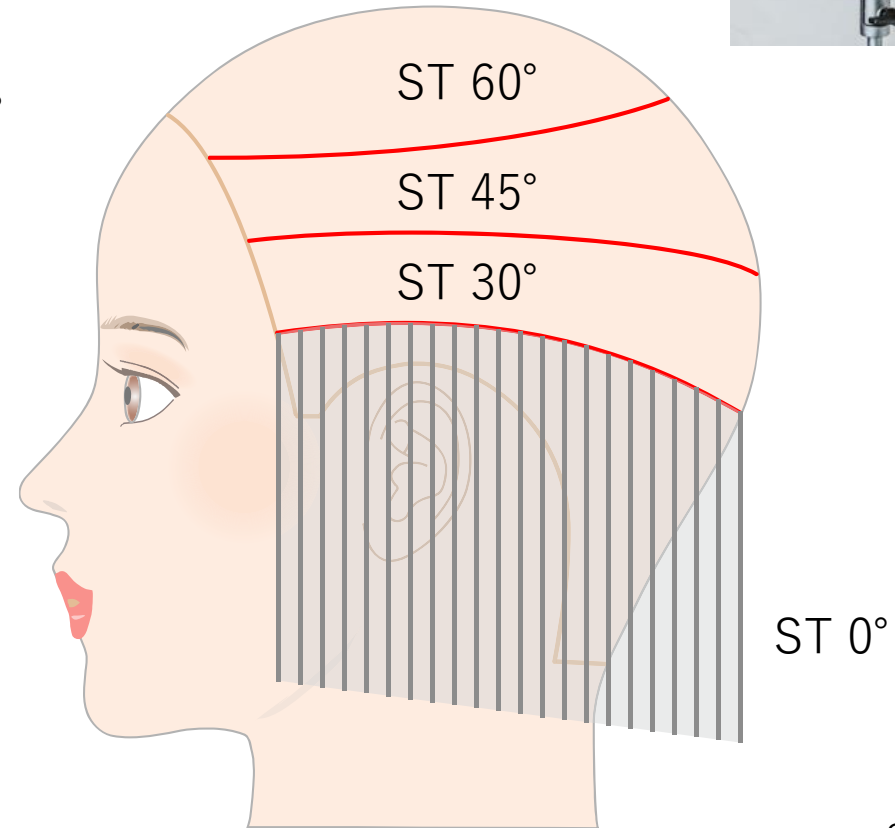
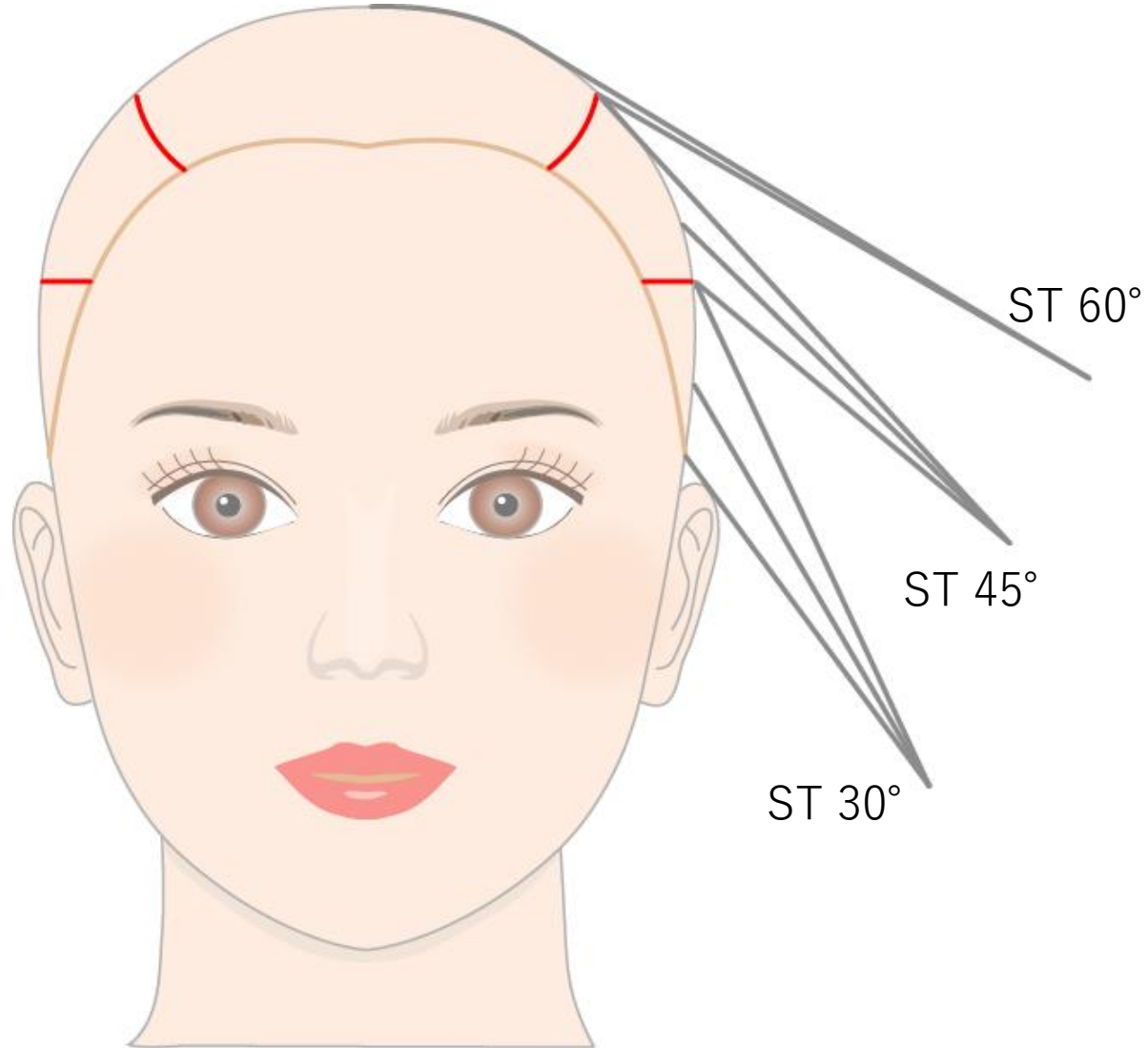
このスタイルは毛量を均等にしたいので毛先ラインに平行にセニングを2度3度入れます

毛先のハネを作りたいので上部の毛を多くとるセニング

毛先のハネを作りたいので上部の毛を多くとるチョップ 注意：ぼかす
チョップでは有りません明確に



ボブ フォーム

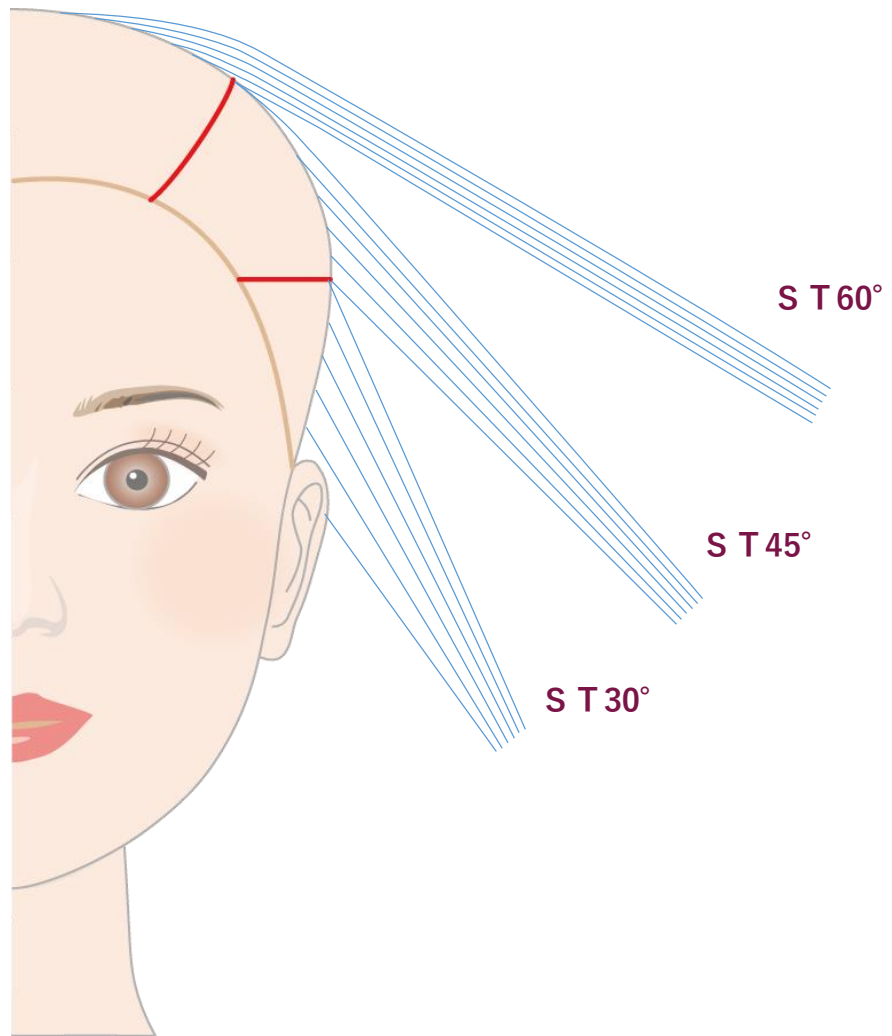


ST : ステーションナリー
TR : トラベリング

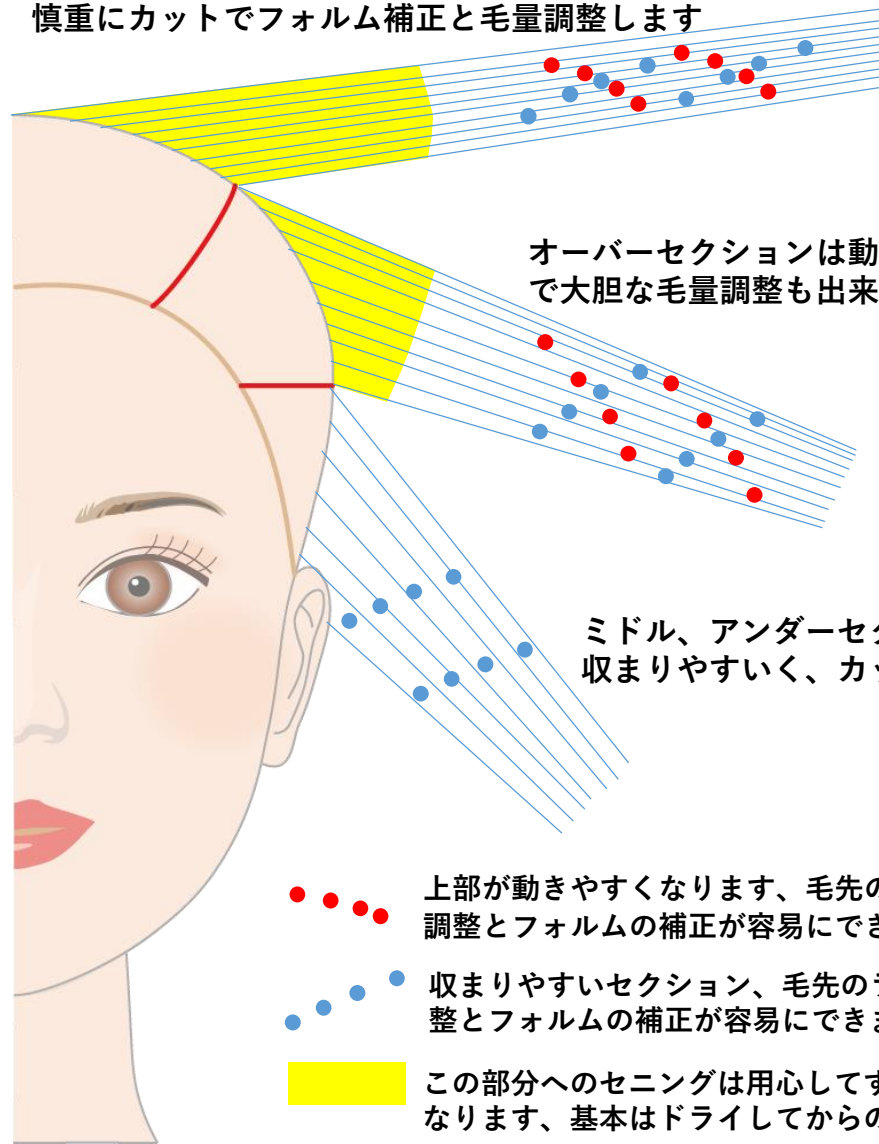
ボブ セニング (毛量調整)

オーバー、ミドル、アンダーに適切な毛量調整、フォルム調整

ベースカットのフォルム



トップセクションは通常、動きやすい場所ですので
慎重にカットでフォルム補正と毛量調整します



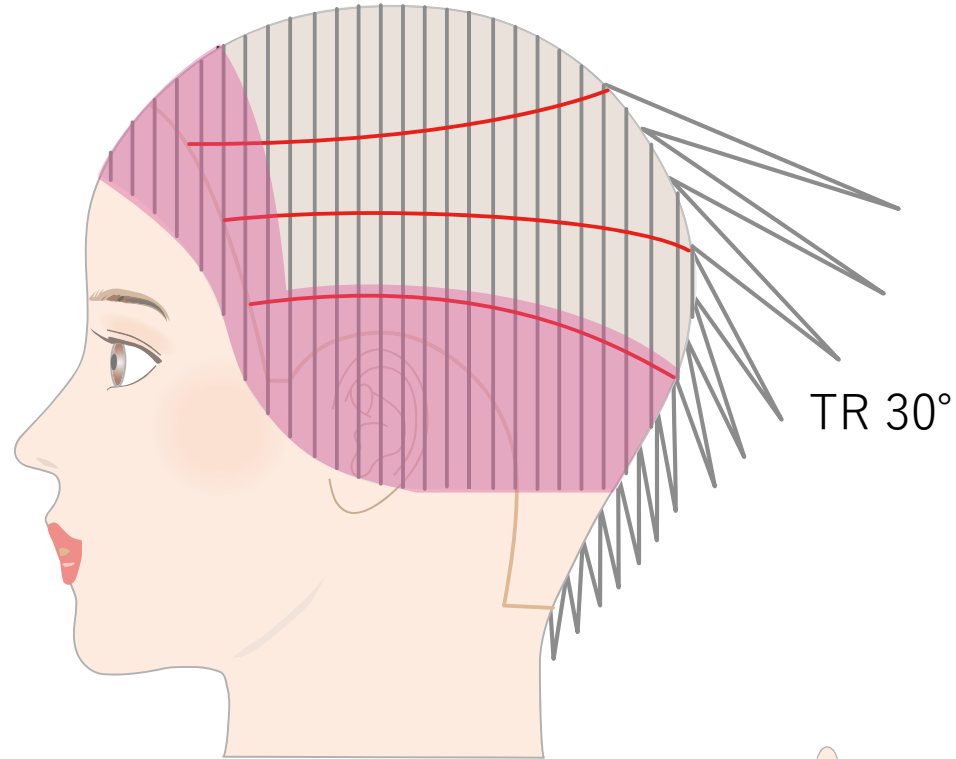
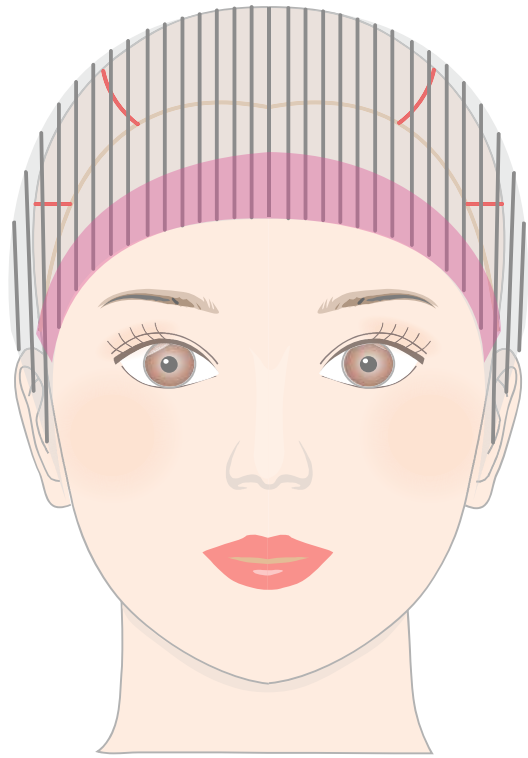
オーバーセクションは動きが出やすい所
で大胆な毛量調整も出来ます

ミドル、アンダーセクションは通常、内に
収まりやすいく、カットで毛量調整します

- 上部が動きやすくなります、毛先のラインに対する角度で毛量調整とフォルムの補正が容易にできます。
- 収まりやすいセクション、毛先のラインに対する角度で毛量調整とフォルムの補正が容易にできます。
- この部分へのセニングは用心してする事、インナーフォルムになります、基本はドライしてからのカットを薦めます

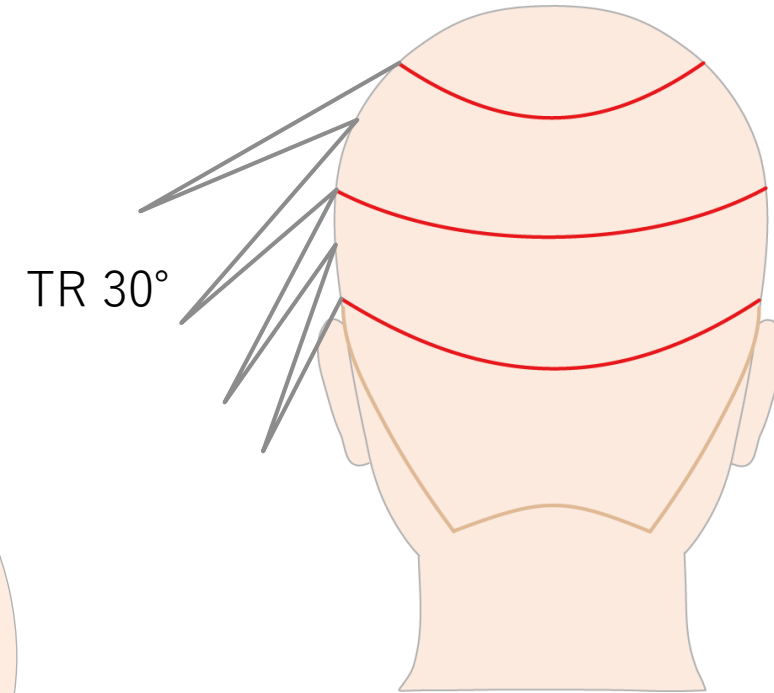
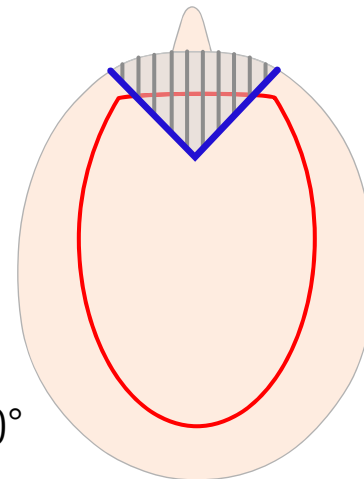


マッシュルーム フォルム



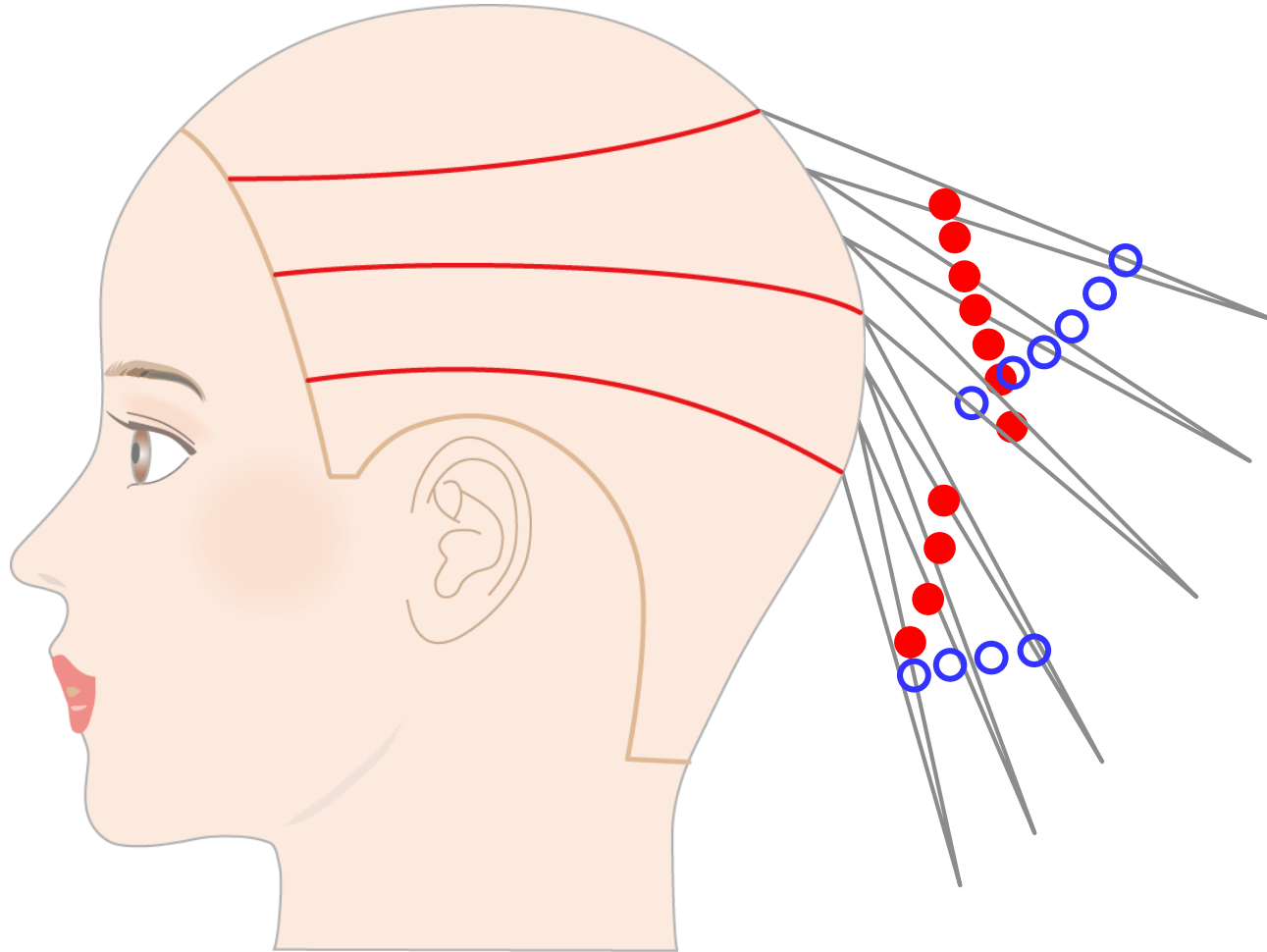
両方で似合わせ作る
黒線下は
Mashのフォルムを残す部分です
上部は
TR30° 40° 60° でカット

バングST 0°



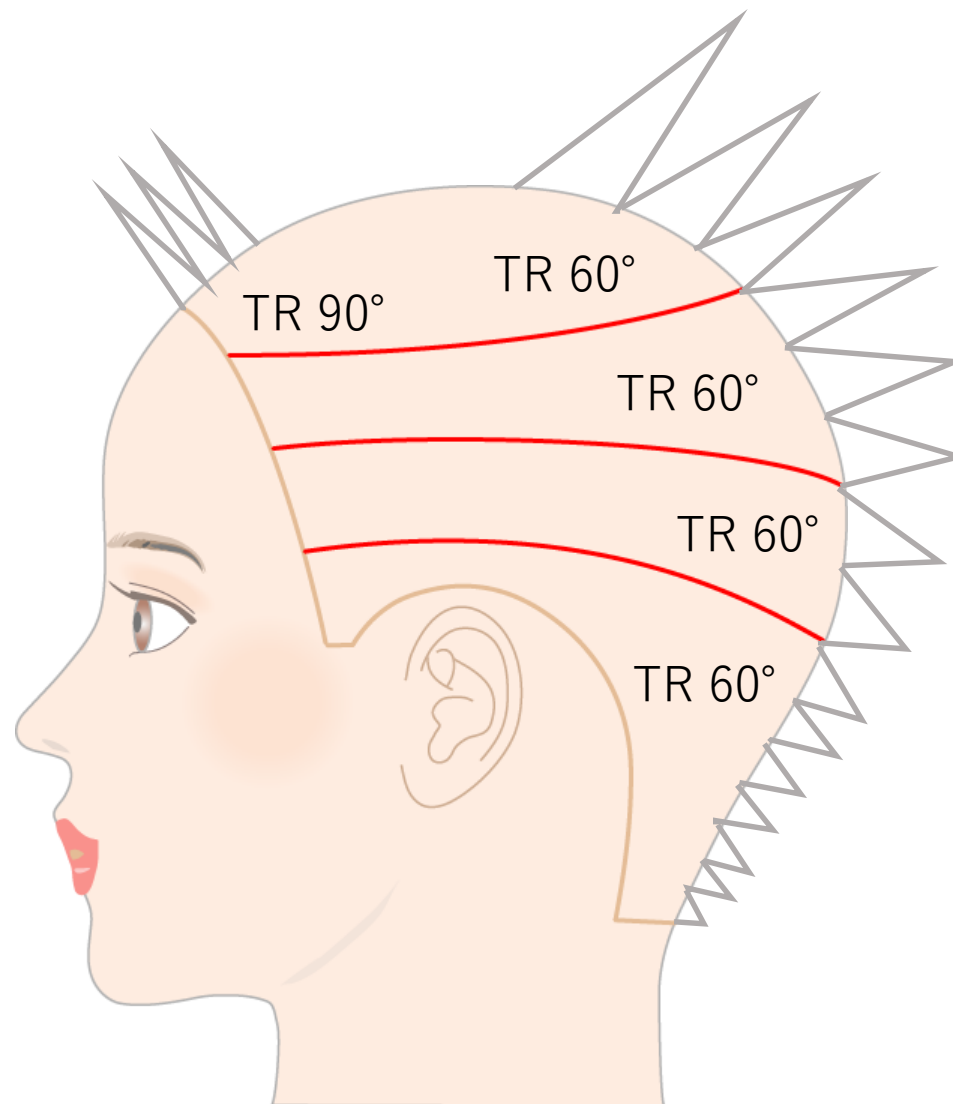
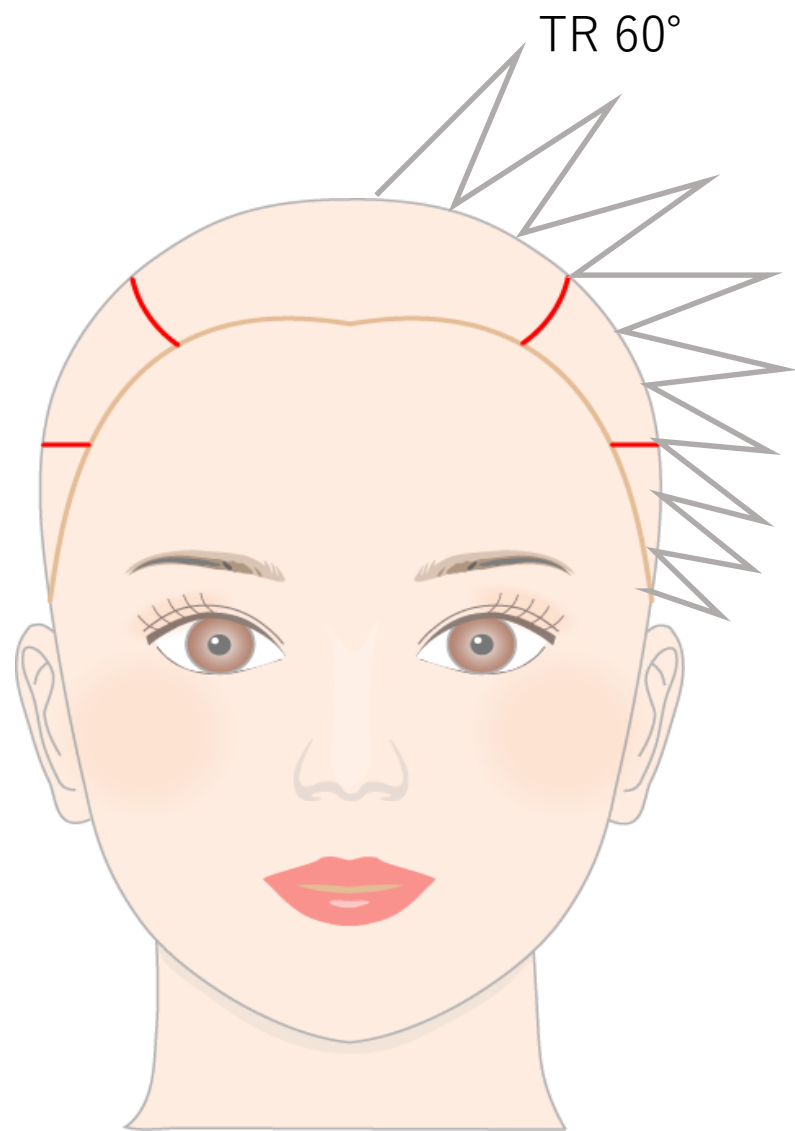
ST：ステーションナリー
TR：トラベリング

マッシュルーム セニング (毛量調整)



- おさまりやすく軽くする
- 動かしやすく軽くするオーバー、ミドル、アンダーに適切な毛量調整

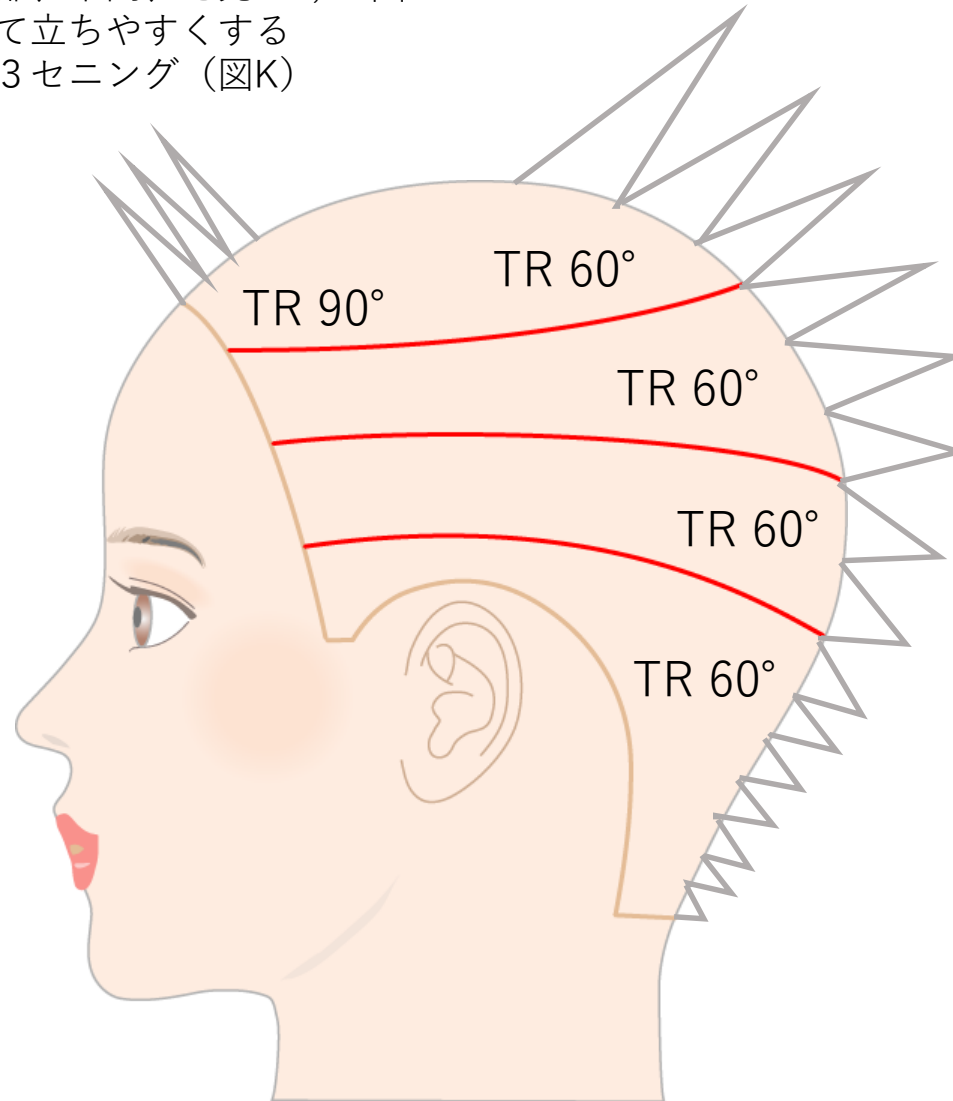
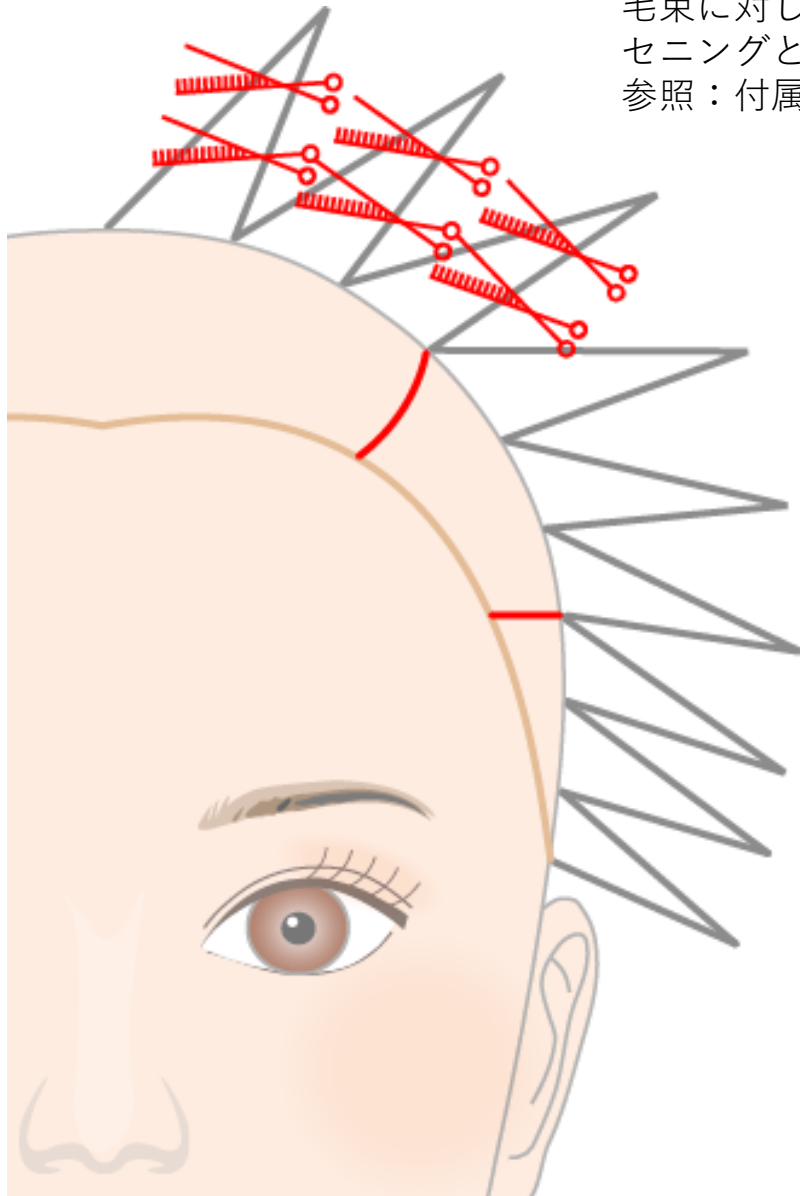
ショート フォーム



ST : ステーションナリー
TR : トラベリング

ショート セニング (毛量調整)

毛束に対して下部、中間、毛先に2, 3回
セニングを入れて立ちやすくする
参照：付属資料3 セニング (図K)



ST：ステーションナリー
TR：トラベリング